

平成28年7月6日

運輸審議会

会長 鷹箸 有宇壽 殿

公述申込書

運輸審議会一般規則第35条の規定により、下記のとおり公述申込みを致します。

記

1 公述しようとする事案

事案番号 平28第4001号

事案の種類 軌道運送高度化実施計画の認定

事案の申請者 宇都宮市、芳賀町及び宇都宮ライトレール株式会社

2 公述しようとする者

(ふりがな) うつのみやらいとれーるかぶしきがいしゃ だいひょうとりしまりやくしやちょう たかい とおる
職氏名 宇都宮ライトレール株式会社 代表取締役社長 高井 徹

(郵便番号) 〒320-0806

住 所 栃木県宇都宮市中央1丁目1番1号 宇都宮アクシスビル406号室

年 令 61歳

3 事案に対する賛否

申請者

4 利害関係を説明する事項

申請者

5 自宅、勤務先等の連絡先電話番号

宇都宮ライトレール株式会社 028-636-3806 (勤務先)



軌道運送高度化実施計画（宇都宮駅東側LRT事業）の認定申請に係る

公　述　書

公　述　人　　宇都宮ライトレール株式会社 代表取締役社長 高井　徹

私は、宇都宮ライトレール株式会社代表取締役社長の高井徹でございます。

本日は、弊社が平成28年1月22日に申請いたしました「軌道運送高度化実施計画」認定申請に関しまして、当地区で公聴会が開催され、弊社の申請の趣旨をご聴取いただけますことを厚く御礼申し上げます。

ただいまから、弊社が今回申請いたしました「軌道運送高度化実施計画」認定申請につきまして、その理由をご説明申し上げます。

まず、弊社の概要ですが、弊社は、芳賀・宇都宮LRTの運営を担う官民連携による新設会社として、昨年11月に設立されました。行政である「宇都宮市」と「芳賀町」、地元経済界の「宇都宮商工会議所」や「芳賀町商工会」、地元の民間企業26社により設立されました持株会である「とちぎライトレール支援持株会」、地元鉄道事業者である「東武鉄道株式会社」、地元のバス事業者である「関東自動車株式会社」と「東野交通株式会社」、そして地元金融機関である「株式会社足利銀行」と「株式会社栃木銀行」の合計10者から出資を受け、まさに、オール宇都宮・芳賀の体制が構築されております。

役員構成につきましては、各出資者から選任しているところであり、この「軌道運送高度化実施計画」の申請につきまして、弊社の取締役会において十分に議論した上で、役員の全員一致をもって承認したところであります。

また、出資割合につきましては、会社設立時においては、各種計画の策定や運営体制構築に向けた準備等に取り組む必要がありますことから、行政が出資割合の51%を確保し、その後、運営体制の本格化に合わせて、民間の出資割合を高めていく予定であります。

次に運営体制についてですが、軌道事業の実施に当たっては何よりも安全な輸送と確実・安定性のある事業運営が求められると考えておりのことから、安全輸送が担保できる運営体制の構築に向けまして、今後、選任する安全統括管理者として、広島電鉄株式会社で運輸課長、車両課長、工務課長などを歴任された、元広島電鉄常務取締役電車カンパニープレジデントの中尾正俊氏を迎えたところであります。今後も軌道事業の経験やノウハウを有する人材を確保することで、安全輸送が担保できる体制の構築に取り組んでまいります。

確実性・安定性のある事業運営の実施に向けましては、運転士の養成を含め、技術協力をいただける東京急行電鉄株式会社、富山地方鉄道株式会社、京福電鉄株式会社、岡山電気軌道株式会社、広島電鉄株式会社の軌道事業者5事業者から、人材の派遣やノウハウの提供を受けることにより、事業の確実性・安定性を高めていき、このような運営体制を構築することにより、弊社自らの経営能力を高め、事業の継続性を確保してまいります。

このように、弊社は、行政の確実性、安定性と社会的信用、民間の意思決定の迅速性と営業力、開発力など、行政と民間のそれぞれの強みを生かし、また、全国の軌道事業者の全面協力をいただきながら、LRT事業の運営体制を着実に整えているところであります。

また、弊社は、安全な運行や経営の継続性が確保されるとともに、宇都宮市・芳賀町のまちづくりに寄与し、地元に密着したサービスを提供する組織として設立されたところであります。本地域の公共交通事業者として、宇都宮市、芳賀町、そして、バス事業者と一体となって公共交通の一翼を担い、将来にわたり、住民や地元企業の方々から親しまれるよう、地域の防犯活動への参加をはじめとして、地域を対象とした交通安全教室の開催や子ども達の社会科見学の受入れなど、地域に密着したCSR活動を実施していく所存であります。

以上、このLRT事業におきまして、弊社に課せられた役割を果たすため、「軌道運送高度化実施計画」の認定申請につきまして、何卒ご審議を賜り、お認めくださいますようお願い申し上げまして、私の公述を終わらせていただきます。